

学会記事

【第6回総会】（2013年6月29日，於：筑波大学筑波キャンパス春日地区7A105教室，参加者42名）

山下清海常任委員長の開会の辞，内山幸久会長の挨拶のあと，中村周作会員を議長，大石貴之庶務委員を書記として選出し総会が始められた。

I. 会務報告について

会員数（2013年6月27日現在，291名），第5回大会の開催，第14～15回例会の開催，機関誌「地理空間」第5巻1号および第5巻2号の刊行，ニューズレター（第14～16号）の発行，ホームページおよびメーリングリスト（jags-ml）の運営，2013年度学会賞の受賞者が報告された。

[地理空間学会学会賞]

【特別賞】

山本正三

受賞対象：山本正三・正井泰夫訳『地理学の方法論的考察』大明堂，170頁，1967年。

山本正三著『茶業地域の研究』大明堂，257頁，1973年。

山本正三・菅野峰明訳『ラテンアメリカⅠ・Ⅱ・Ⅲ』二宮書店，443頁，429頁，285頁，1979年。

山本正三・石井英也訳『人文地理学』二宮書店，498頁，1987年2月。

山本正三・田林 明・北林吉弘編著『日本の農村空間』古今書院，423頁，1987年。

山本正三編著『首都圏の空間構造』二宮書店，487頁，1991年。

山本正三・奥野隆史・石井英也・手塚 章編著『人文地理学事典』朝倉書店，527頁，1997年。

山本正三・内山幸久・犬井 正・田林 明・菊地俊夫・山本 充編著『自然環境と文化』大明堂，248頁，2001年。

山本正三・石井英也・三木一彦訳『ヨーロッパ：文化地域の形成と構造』二宮書店，484頁，2005年。

山本正三・谷内 達・菅野峰明・田林 明・奥野隆史編著『日本の地誌2 日本総論Ⅱ』朝倉書店，477頁，2006年。

山本正三・田林 明・菊地俊夫編著『小農複合経営の地域的展開』二宮書店，400頁，2012年。

溝尾良隆

受賞対象：高橋伸夫・溝尾良隆編著『実践と応用』古今書院，213頁，1989年。

溝尾良隆著『観光事業と経営－たのしみ列島の創造』古今書院，203頁，1990年。

溝尾良隆著『観光を読む－地域振興への提言』大明堂，206頁，1994年。

山本正三・千歳壽一・溝尾良隆編著『現代日本の地域変化』古今書院, 236頁, 1997年.
 溝尾良隆著『ご当地ソング讃－魅力ある「まち」にはいい歌がある』東洋経済新報社,
 174頁, 1998年.

溝尾良隆著『観光学－基本と実践』古今書院, 149頁, 2003年.

溝尾良隆編著『観光地の持続的発展とまちづくり』393頁, 2007年.

溝尾良隆著『観光まちづくり現場からの報告－新治村・佐渡市・琴平町・川越市』
 原書房, 197頁, 2007年.

溝尾良隆編著『観光学の基礎』原書房, 233頁, 2009年.

溝尾良隆著『ご当地ソング, 風景百年史』原書房, 242頁, 2011年.

溝尾良隆著『観光学と景観』古今書院, 229頁, 2011年.

【学術賞】

平岡昭利

受賞対象：平岡昭利著『アホウドリと「帝国」日本の拡大－南洋の島々への進出から侵略へ』明
 石書店, 279頁, 2012年.

【奨励賞】

久木元美琴

受賞対象：久木元美琴「地方温泉観光地における長時間保育ニーズへの対応－石川県七尾市の
 事例から－」, 地理学評論, 83巻, 176～191, 2010年.

Kukimoto, M.F., The use of communication tools among Japanese mothers
 living in France. NETCOM-Networks and Communication Studies, 24(1/2),
 47～62, 2010年.

Kukimoto, M., Wakabayashi, Y. and Yui, Y., Production of local childcare culture
 in Okinawa and the impact of policy change. Geographical Review of Japan
 Series B, 84, 60～70, 2012年.

水谷千亜紀

受賞対象：Mizutani, C. and Murayama, Y., Analytical framework for polygon-based land
 use change. SIGSPATIAL Special, 3(3), 15～20, 2011年.

Mizutani, C., Construction of an analytical framework for polygon-based land
 use transition analyses. Computers, Environment and Urban Systems, 36(3),
 270～280, 2012年.

Lwin, K., Murayama, Y. and Mizutani, C., Quantitative versus qualitative
 geospatial data in spatial modeling and decision making. Journal of
 Geographic Information System, 4(3), 237～241, 2012年.

市川康夫

受賞対象：吉田国光・市川康夫・花木宏直・栗林 賢・武田周一郎・田林 明「大都市近郊における社会関係からみた稲作農家の農地集積形態」, 地学雑誌, 119巻, 810～825, 2010年.

市川康夫「中山間農業地域における広域的地域営農の存立形態 —長野県上伊那郡飯島町を事例に—」, 地理学評論, 84巻, 324～344, 2011年.

市川康夫「フランス条件不利地域における山地農家の経営戦略 —マッシフ・サントラル, メザン地域を事例に—」, 地学雑誌, 121巻, 1010～1029, 2012年.

遠藤貴美子

受賞対象：遠藤貴美子「東京城東地域におけるカバン・ハンドバック産業集積の存立基盤—企業間の受発注連関とコミュニケーションの分析を通じて—」, 地理学評論, 85巻, 342～361, 2012年.

遠藤貴美子「東京城東地域におけるカットグラス産業の生産・流通構造変化—「江戸切子」の創造的側面に着目して—」, 地域経済学研究, 25巻, 106～121, 2012年.

II. 2012年度決算報告・監査報告について

2012年度の一般会計および特別会計の決算案が提示され, その収支について会計監査人(手塚, 矢ヶ崎)より適正であるとの承認を受けたことが報告された。2012年度決算案は異議なく承認された。

III. 2013年度事業計画について

2013年度事業計画について, 「地理空間」第6巻1号および2号の刊行, 第7回大会の開催, 例会の開催, ニュースレターの発行, ホームページとメーリングリストの管理・運営が提案された。2013年度事業計画は異議なく承認された。

IV. 2013年度予算案について

2013年度予算案について, 収入と支出に関する説明がなされた。2013年度予算案は異議なく承認された。

V. 役員・専門委員会の構成について

役員および専門委員会(2012年7月1日～2014年6月30日)の構成員について, 専門委員会の構成員が一部変更されたことが報告された。役員および専門委員会構成員は異議なく承認された。

会 長：内山幸久

会計監査：手塚 章, 矢ヶ崎典隆

常任委員：山下清海(常任委員長), 呉羽正昭(庶務委員長), 兼子 純(会計委員長), 森本健弘(集会委員長), 松井圭介(編集委員長)

評議員：井田仁康，伊藤 悟，伊藤徹哉，小口千明，小野寺 淳，加賀美雅弘，兼子 純，川瀬正樹，菊地俊夫，呉羽正昭，小林岳人，小宮正実，篠原秀一，須山 聡，平 篤志，高橋重雄，田林 明，堤 純，中西僚太郎，中村周作，中村理恵，仁平尊明，根田克彦，橋本雄一，平岡昭利，松井圭介，丸山浩明，村山祐司，森本健弘，山下亜紀郎，山下清海，山下宗利，若本啓子

<専門委員会>

庶務委員会：呉羽正昭（委員長），磯野 巧，大石貴之，橋爪孝介

会計委員会：兼子 純（委員長），栗林 賢，福井一喜，羽田 司

集会委員会：森本健弘（委員長），山下亜紀郎（副委員長），池田真利子，市川康夫，卯田卓矢，遠藤貴美子，石坂 愛

編集委員会：松井圭介（委員長），堤 純（副委員長），井田仁康，小口千明，須山 聡，田林 明，中西僚太郎，橋本暁子，橋本雄一，丸山浩明，村山祐司，矢ヶ崎典隆，山下 潤，Thomas C. Waldichuk

（書記）：小野澤泰子，橋本 操，益田理広

学会賞選考委員会：井田仁康（委員長），岩間信之，中村周作，仁平尊明，村山祐司（事務局）

（※2013年7月1日～2014年6月30日，1年間）

Ⅵ. その他

「地理空間」掲載論文について，刊行後半年を経た論文は，全文をPDFでweb公開されることが松井編集委員長より報告された。「地理空間」掲載論文のweb公開は異議なく承認された。また，地理空間学会が日本学術会議協力学術研究団体に指定されるよう，申請中であることが山下常任委員長より報告された（2013年9月，地理空間学会は日本学術会議協力学術研究団体に指定された）。

【大会報告】

第6回（2013年6月29日～6月30日，於：筑波大学筑波キャンパス春日地区，参加者79名）

・研究発表

橋本暁子（筑波大）・兼子 純（筑波大）・全 志英（筑波大・院）・横山貴史（神奈川大）：在来市場の分布からみた釜山市の商業的特徴

双木俊介（文教大・非）：明治期東京における旧大名屋敷の宅地開発と借地人の特徴－麻布霞町を事例として－

淡野寧彦（愛媛大）・包 翠栄（愛媛大・院）・淡野明彦（奈良教育大・名誉）：中国内モンゴル自治区アラシャー盟左旗における牧畜経営の展開

若本啓子（宇都宮大）：家畜防疫における地理情報の活用とその課題－家畜防疫マップシステムを中心に－

貝沼恵美 (立正大) : 多言語国家における教授用語決定の困難性
 泉 貴久 (専修大松戸高, 筑波大・院) : 社会参加能力育成という観点から見た地理教育の意義について
 - 他領域との比較から考察する -

・会長講演

内山幸久 (立正大) : 日本における果樹生産の展開

・ポスター発表

新井悠司 (筑波大・院) : 関東地方における観光行動からみた日光湯元温泉の役割
 青木茂治 (水城高) : 茨城県北部にみられる藁人形の習俗 - 由来伝承・人形の特徴・行事内容の記録 -
 中川紗智 (筑波大・院) : 近現代における明延鉦山町の変容
 矢ヶ崎太洋 (筑波大・院)・一ノ瀬友博 (慶應義塾大) : 東日本大震災以前の記憶と地域イメージの復元
 - 宮城県気仙沼市舞根地区の事例 -
 秋元菜摘 (東京大・院) : 高齢社会における公共交通を利用したモビリティの変化 - 青森市と富山市の事例 -
 上野李佳子 (筑波大・院) : 景観維持における定年帰農者の役割 - 山口県萩市を事例に -
 羽田 司 (筑波大・院) : 長野県須高果樹産地における農協共販の展開戦略
 山中博希 (筑波大・院) : 神戸市・兵庫運河における機能の変化と地域住民の意識からみた地域活性化
 栗林 慶 (筑波大・院) : 東濃地域における陶磁器生産の地域分化
 川村一希 (筑波大・院) : 宇都宮市中心部におけるオフィス立地の変容
 落合李愉 (筑波大・院) : 群馬県大泉町におけるブラジル人の就労形態からみた生活様式の変容
 久保堯史 (筑波大・院) : 福岡市における交通流動の時空間構造
 水谷千亜紀 (国立環境研究所) : 高時間分解能データセットを用いた土地利用の変遷 - つくば市中央部を事例に -
 横山貴史 (神奈川大) : 東日本大震災と漁村の復旧・復興 - 牡鹿半島東浜地区の二年から -

・巡検

「大河川と地域発展 - 利根川流域の経済と文化をたどる -」(参加者24名)
 オーガナイザー : 福井一喜, 益田理広

【例会報告】

第16回(2013年9月16日, 於: 筑波大学筑波キャンパス, 参加者63名)(経済地理学会関東支部9月例会との共催)

・発表者および演題

西山弘泰(うつのみや市政研究センター・研究員) : 首都圏郊外における都市化と小規模開発住宅地の

変容－埼玉県富士見市関沢地区を事例に－」

阿部和俊（愛知教育大・名誉教授）：私の研究遍歴－人文地理学のアイデンティティ再考－

【庶務委員会からのお知らせ】

地理空間学会は、2013年9月に日本学術会議協力学術研究団体に指定されました。

【地理空間学会会則】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL： <http://jags.ne.jp/>

【編集委員会からのお知らせ】

7～11月：「論説」1編、「研究ノート」2編、「調査報告」1編について閲読結果をもとに検討し、これらを受理した。

【次号以降の投稿について】

第7巻1号は2014年6月20日の発行を予定しており、投稿はおおむね2014年2月末まで受け付けております。また、第7巻2号の原稿については8月末まで、それ以降の原稿につきましても随時受け付けております。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員の皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために、会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまして、会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には、編集委員会 (geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp) までお知らせください。

【投稿規定 & 執筆要項】

2013年6月に投稿規定が一部改訂されました。詳細は地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL： <http://jags.ne.jp/>

【会員消息】

一般会員 高橋伸夫氏が2013年7月に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

【新入会員】（2013年6月4日から2013年11月13日）

池永正人（長崎国際大）

片岡 博美（近畿大）

葉 倩璋（茨城大）

泉 貴久（筑波大・院）

松井健一（筑波大）

（会員数：292人，2013年11月13日時点）